

写

令和4年1月12日

長瀬町教育委員会
教育長 野口 清 様

長瀬町学校のあり方検討委員会
委員長 平沼 旻

今後の望ましい学校教育のあり方について（答申）

令和2年10月14日付け長教委第327号で諮問のありました「今後の望ましい学校教育のあり方について」、本検討委員会で慎重に検討した結果、下記の意見を付して答申します。

記

- 1 長瀬町における児童生徒数の将来推計や現在の学校間における学習環境の差を踏まえると、学校規模を適正化し、一定規模の児童生徒集団の中で、多様な考えに触れ、切磋琢磨し合うことで、心身の豊かさが育まれる教育環境が望ましい。
- 2 上記を実現するため、小中一貫教育の導入を提言する。これは、学校、地域の魅力化及び老朽化した校舎等の建替費用の軽減や経費の効率化にも資すると考える。
第二小学校においては、小規模化が著しく、早急に対応する必要があるが、小中一貫教育の導入には一定の期間を要するため、早期の小学校統合を提言する。